



ジオパーク

[001] 小柳 淳

橋咀、鹽田仔、糧船灣洲、東壩、浪茄、海下、吉澳洲、塔門洲。普段、あまり耳にしない地名ですね。最近、香港新界北東部の海や島々を訪ねています。このエリアはジオパークに指定されたところもあるくらい、大昔の地殻変動や火山活動の跡が海岸浸食などによって見えるようになった箇所がたくさんあります。

9月に香港最大貯水量の萬宜水庫に行ってきました。バス路線はなし。道の途中には遮断機があって、自家用車は入れません。西貢で緑色の新界タクシーに乗って約30分。車で行ける終点は巨大ダム、東壩でした。

ダムは二重です。巨大な貯水地を支えるダムとそのダムを海の波から守る堤防のような低いダムです。何故海のそばにあるかということ、新界の陸地にとても近くにあった糧船灣洲という島の東西両端の海峡

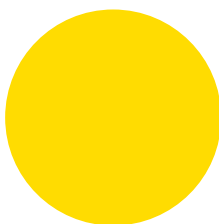
を、ふたつのダムで閉めきってこの湖ができたためです。だから、ダムの名は東壩と西壩。西壩はその堤防上をさきほどタクシーで走ってきました。

東壩ダムの周囲は六角柱の柱状摂理の宝庫。なかには地殻変動の力でS字型にねじ曲げられた姿も見られます。海中の小島、破邊洲は永年の海蝕によって糧船灣洲から切り離されたのだそうです。分離した断面は明るい茶色の見事な柱状摂理面となって遠望できます。

西貢からこちらへは、海上から眺めるツアー船も各種出ています。ただ、外洋に出る小さな船ですので、度胸のある方に限りこちらもいいかも。私がたまたま乗ったタクシーの運転手は、日本企業で働いていたことがあるとのこと、広日英語織り交ぜて話が弾みました。そして約束どおり戻る予定時間に迎えに来てくれました。

注...上記掲載にあたり小柳さんと、「ジオパークとは？」の説明を入れようかと相談していたのですが、この「とは？」の定義がちょっと難しく.....わからない方は自分で調べてみてください。(ごめんなさい、逃げました。会報担当)

ご存じですか？



トラベラーズノート

[032] 赤澤 章弘



筆者のノートです

丸善のウェブページの担当していたときに、当時発売されたばかりの小柳会長の「香港路線バスの旅」のインタビューを行い書籍のプロモーション記事としてネットに掲載した(2009年)。その中で、香港街歩きの必須ツールについて伺ったところ、**1.香港街道地方指南 2.トラベラーズノート 3.デジカメ 4.色ボールペン 5.オクトパスカード** とのお答えだった。以来私も真似をしてこれらが必須ツールとなっている。中でもトラベラーズノートは普段の仕事で使っている。それまで使っていたモレスキンより紙の質がよくとても気に入っている。

トラベラーズノートは株式会社デザインフィル(旧社名「株式会社ミドリ」)という文具メーカーが発売した革のカバーとレフィルのセットで、レフィルの種類がたくさんあって用途

ノート表紙

に合わせて選ぶことができる。

そのトラベラーズノートのパスポートサイズ発売 5周年を記念して香港スターフェリーとのコラボレーション「トラベラーズスター エディション」が発売された。詳細については

http://www.midori-japan.co.jp/tr/topics_special/special/2013/special-star2013/

をご覧ください。

特筆すべき点はいくつもあるのだが、パスポートサイズのレフィルの表紙の色はスターフェリーのシンボルカラー緑色であり、“the 5th Anniversary of PASSPORT size TRAVELER'S STAR EDITION” と金字で印されている。その文字はスターフェリー内の壁に書かれたステンシル文字が使われていて趣を醸し出している。

香港迷としてはぜひともゲットしておきたいアイテムである。

ハーバーシティのPageOneのディスプレイ



後記

渡部さんが鴨ちゃんに魅了されまくったようで、写真をたくさん送っていただきました。今回は最後に鴨鴨大連発を！(私メモメモです・会報担当002)

